

自己評価結果公表シート(令和3年度)

1、本園の教育目標及び教育方針

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていく教育を行っている。

2、本年度、重点的に取り組んだ目標・計画

- I. コロナ過で感染リスクの対策を取りながら、子ども達の負担が少なく多くの経験ができる手段を職員間で意見交流の場を設けて検討する。
- II. 園と保護者が子ども達の成長の為に共通の認識を持ち、安全で健やかな成長を促すことができる環境を作る。

3、評価項目の達成及び取組状況ならびに今後の課題

<p>教育方針を意識しながら感染症対策を行う取り組み</p>	<p>感染症対策を行いながら、当園の教育方針である『遊んで学ぶ』を行うことに努めた。</p> <p>コロナで制限のある中での活動ではあったが、職員間でできることを模索して保育を行うことで、子ども達の感染症対策による負担をできる限り軽減することができた。</p> <p>今後は今回の感染症対策の経験を生かし、工夫して保育を行っていくことが必要だと思われる。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
<p>園と保護者の子どもに対する情報の共有</p>	<p>園と保護者が子育てに対しての悩みや不安を共有し、安心して通園することができる環境作りに務めた。</p> <p>子どもの変化に気付き、その気付きを保護者と共有することで保護者との信頼関係を築くことができた。</p> <p>今後は、今以上に保護者からの情報の発信ではなく職員から保護者に対して情報の共有を促すことができるように気付くことが必要である。</p>	<p>B</p>
<p>未就園児の子育て支援について</p>	<p>コロナ過で未就園児教室の実施回数が減少した中で、未就園児の保護者に対して、子育ての不安や悩みを解消する為の機会を提供した。</p> <p>参加者が例年より少なかった分、未就園児の保護者から密に話を聞くことにより少しでも子育てに対しての不安や悩みを緩和することができた。</p> <p>多くの保護者に子育てについて前向きに取り組んでもらうために、今後も積極的に機会を提供して行く必要がある。</p>	<p>B</p>

<p>運営について</p>	<p>感染症対策に必要経費がかさむ中で、支出内容を慎重に精査した。</p> <p>感染症対策に重点を置いていたが、その他の設備に対して、安全対策の必要性が感じられた。</p> <p>計画的に予算を確保し、感染症だけではなくケガや天災に対して安全に配慮した対策が必要だと思われる。</p>	<p>B</p>
---------------	---	-----------------

4、学校関係者の評価

保護者会において評価委員会を作り、概ね良しと判断されました。

5、財務状況 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。